

平成30年度
第3回インターネット都政モニター

「東京と都政に対する関心」

調査結果



調査実施の概要

1 アンケートテーマ

「東京と都政に対する関心」

2 アンケート目的

「東京都居住意向」「都政の満足感」「東京都が取り組むべき分野」などについて毎年調査し、東京と都政に対する関心や意識の変化を経年的に探り、今後の都政運営の参考とする。

3 アンケート期間

平成30年8月22日（水）12時から 平成30年8月28日（火）17時まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。

5 インターネット都政モニター数

500人

6 回答者数

479人

7 回答率

95.8%

東京と都政に対する関心

1 調査項目

- Q1 東京都居住年数
- Q2 東京都居住意向
- Q3 東京は魅力的な都市か
- Q4 東京の良いところ（長所）
- Q5 東京の良くないところ（短所）
- Q6 関心を抱いた都政の出来事
- Q7 都政の親近感
- Q8 都政の満足感
- Q9 満足の理由
- Q10 不満の理由
- Q11 東京都が取り組むべき分野

2 アンケート回答者属性

| | | 送付数 | 回収数 | 構成比 | 回収率 | |
|-------|---------|-----------|-----|------|-------|------|
| 全 体 | | 500 | 479 | - | 95.8 | |
| 性 別 | 男 性 | 250 | 241 | 50.3 | 96.4 | |
| | 女 性 | 250 | 238 | 49.7 | 95.2 | |
| 年 代 別 | 10 代 | 8 | 7 | 1.5 | 87.5 | |
| | 20 代 | 61 | 57 | 11.9 | 93.4 | |
| | 30 代 | 85 | 80 | 16.7 | 94.1 | |
| | 40 代 | 107 | 101 | 21.1 | 94.4 | |
| | 50 代 | 76 | 76 | 15.9 | 100.0 | |
| | 60 代 | 84 | 82 | 17.1 | 97.6 | |
| | 70歳以上 | 79 | 76 | 15.9 | 96.2 | |
| 職 業 別 | 有 職 | 自 営 業 | 48 | 45 | 9.4 | 93.8 |
| | | 常 勤 | 182 | 175 | 36.5 | 96.2 |
| | | パート・アルバイト | 54 | 52 | 10.9 | 96.3 |
| | 無 職 | 主 婦 | 110 | 104 | 21.7 | 94.5 |
| | | 学 生 | 26 | 25 | 5.2 | 96.2 |
| | | 無 職 | 80 | 78 | 16.3 | 97.5 |
| 居住地域別 | 東京都区部 | 343 | 326 | 68.1 | 95.0 | |
| | 東京都市町村部 | 157 | 153 | 31.9 | 97.5 | |

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。

そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

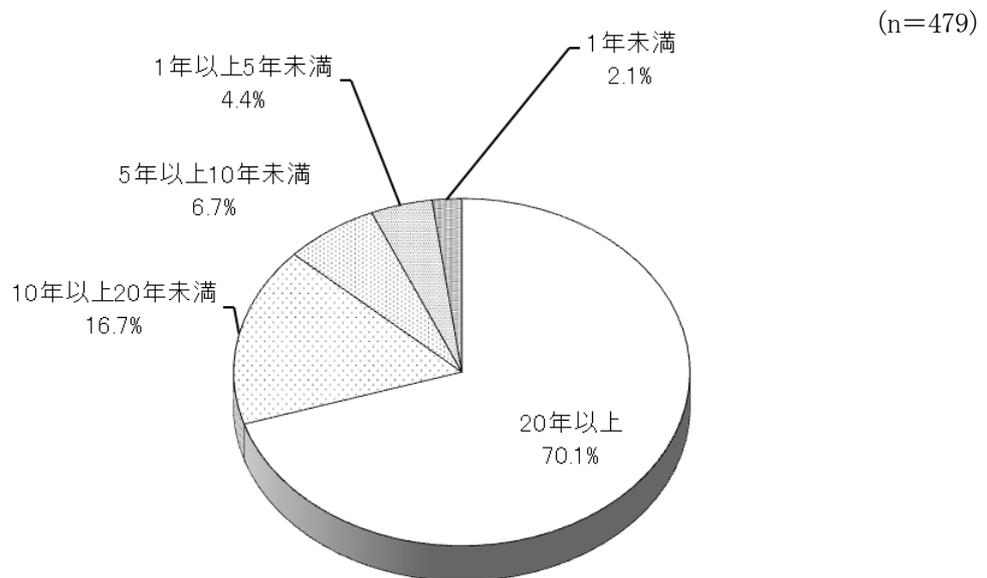
※ 複数回答方法・・・(3MA) =3つまで選択、(5MA) =5つまで選択

今回のアンケート調査は、「東京都居住意向」や「都政の満足感」、「東京都が取り組むべき分野」などについて毎年調査し、東京と都政に対する関心や意識の変化を経年的に探り、今後の都政運営の参考とするものです。



東京都居住年数

Q1 あなたは、東京都に通算でどのくらいの期間住んでいますか。

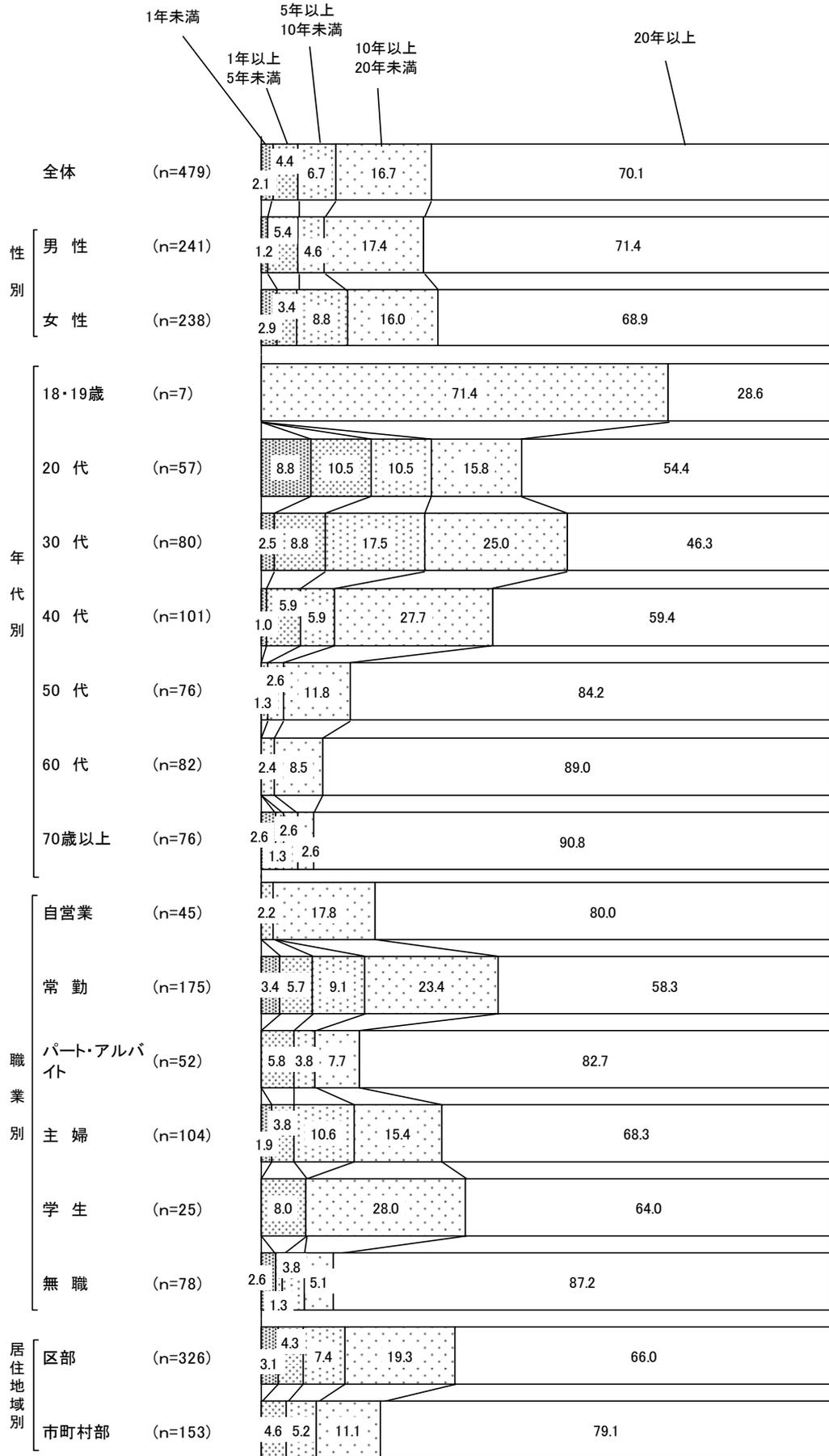


【調査結果の概要】

東京都居住年数について聞いたところ、「20年以上」（70.1%）が7割で最も高く、「10年以上20年未満」（16.7%）が2割近くとなっている。

9割近くの人が10年以上住んでおり、長期に渡り居住する人が多い。

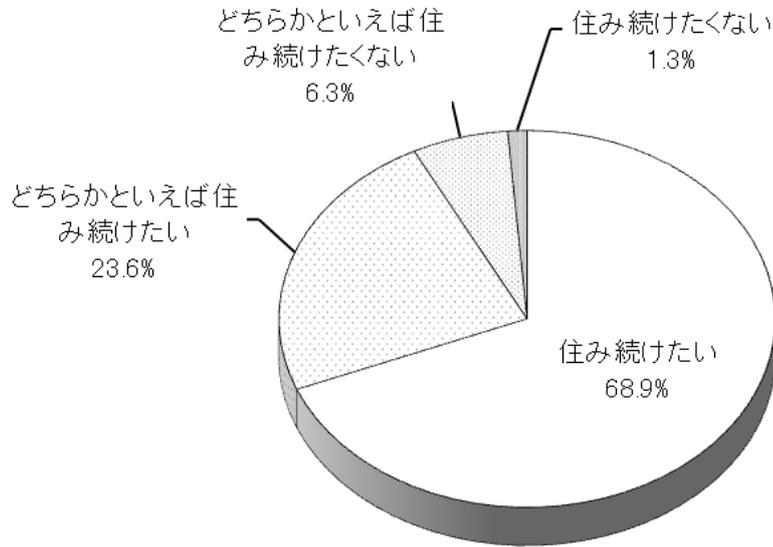
東京都居住年数 (属性別)



東京都居住意向

Q2 あなたは、今後、東京都に住み続けたいと思いますか。

(n=479)

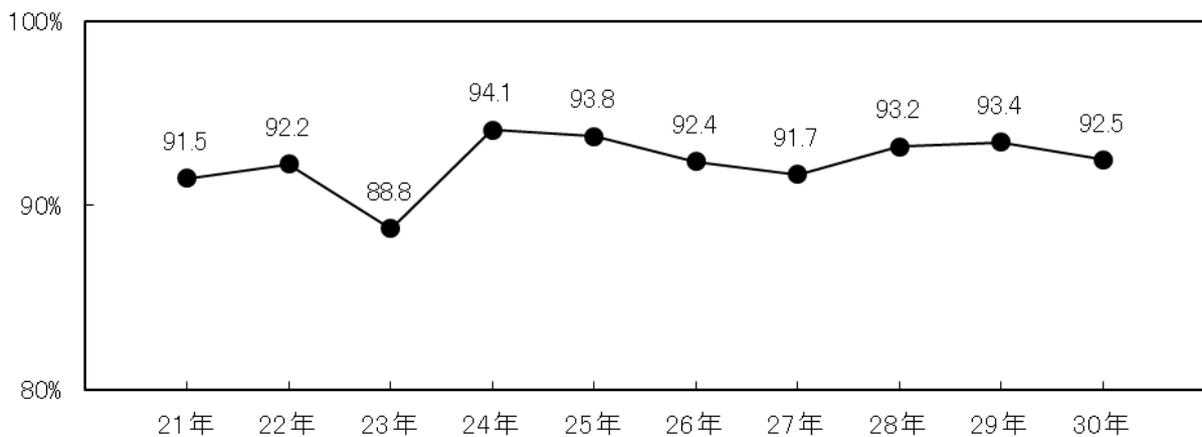


【調査結果の概要】

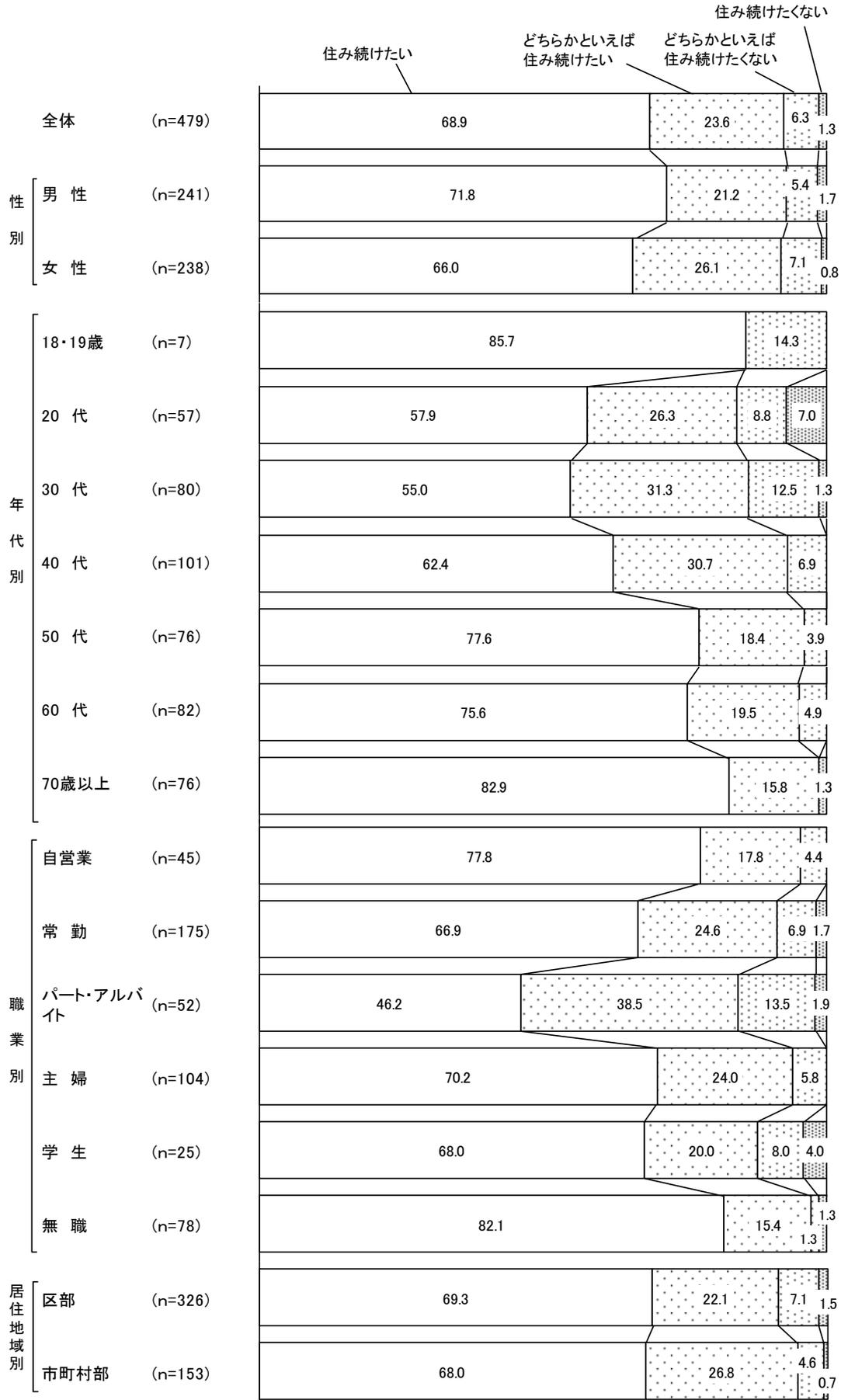
東京都居住意向について聞いたところ、『住み続けたい』（92.5%）（「住み続けたい」（68.9%）＋「どちらかといえば住み続けたい」（23.6%））が約9割と、今後も住み続けたい人が多数である。

『住み続けたい』は、前年度から0.9ポイント下がったが、近年は、ほぼ横ばいの傾向である。

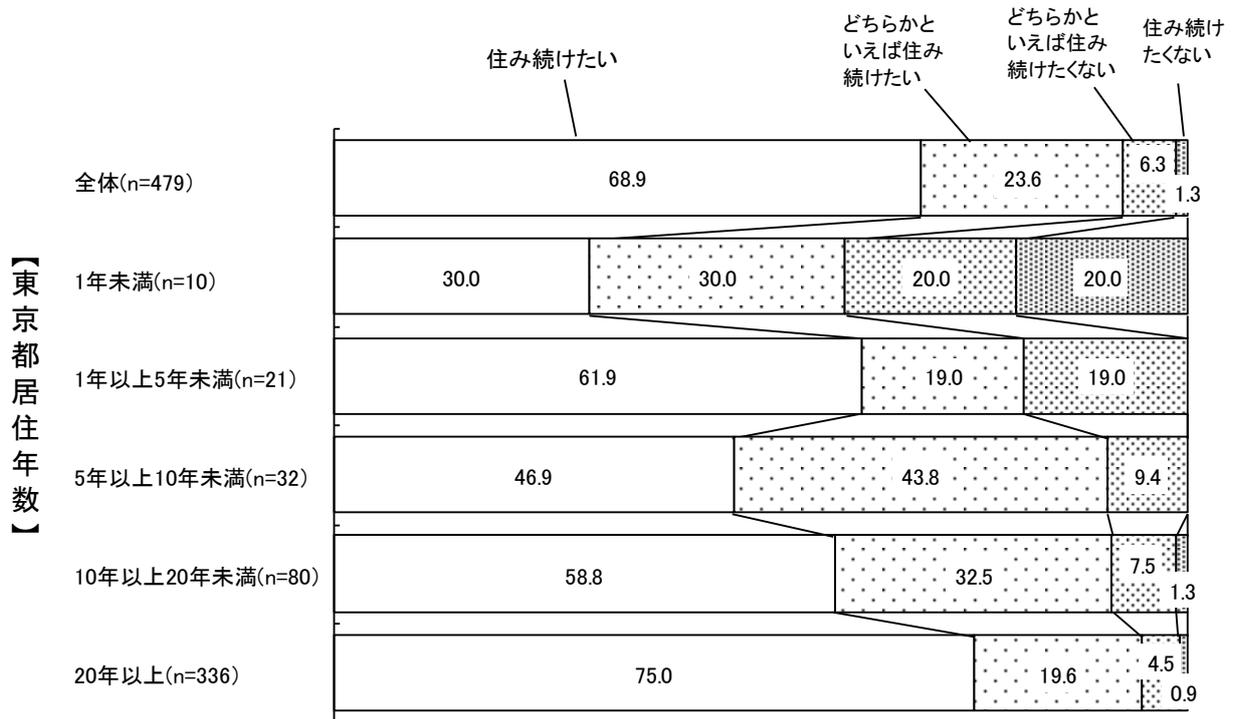
◎ 参考 東京都に『住み続けたい』の経年変化（平成21年度～平成30年度）



東京都居住意向（属性別）



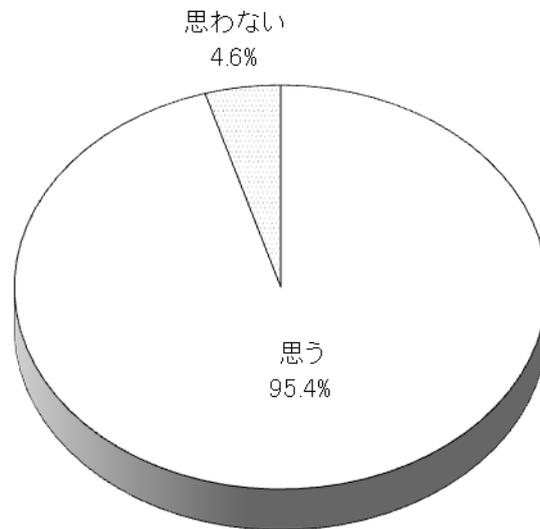
東京都居住意向（東京都居住年数別）



東京は魅力的な都市か

Q3 あなたは、東京は魅力的な都市だと思いますか。

(n=479)

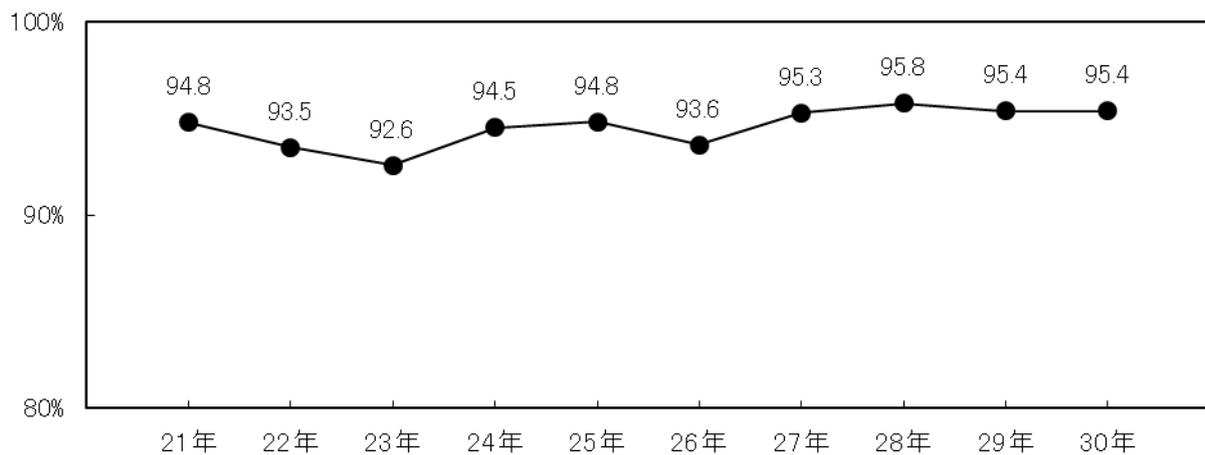


【調査結果の概要】

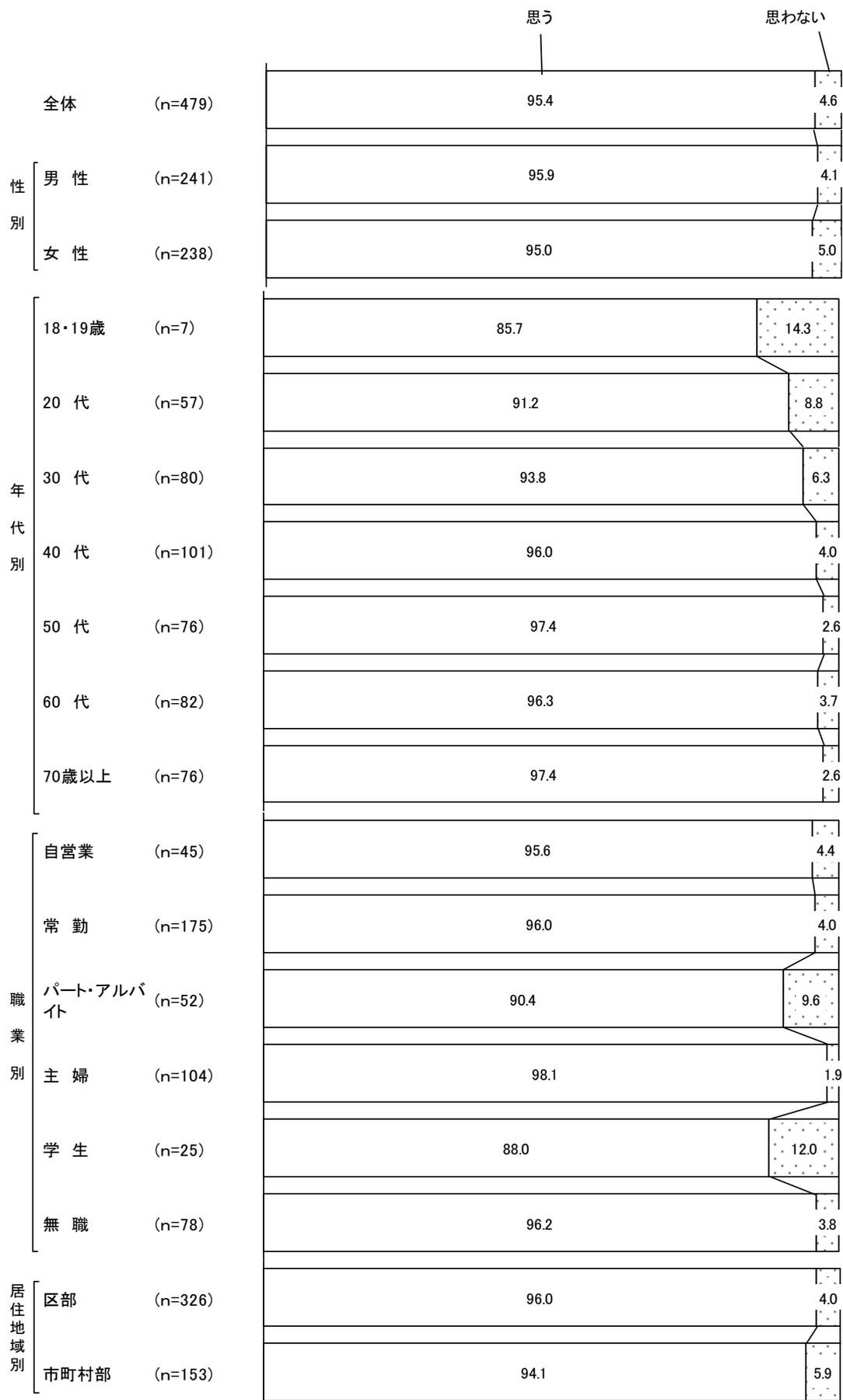
東京は魅力的な都市かについて聞いたところ、「思う」(95.4%)が「思わない」(4.6%)を大きく上回った。

前年度と同じ割合であり、近年は、ほぼ横ばいの傾向である。

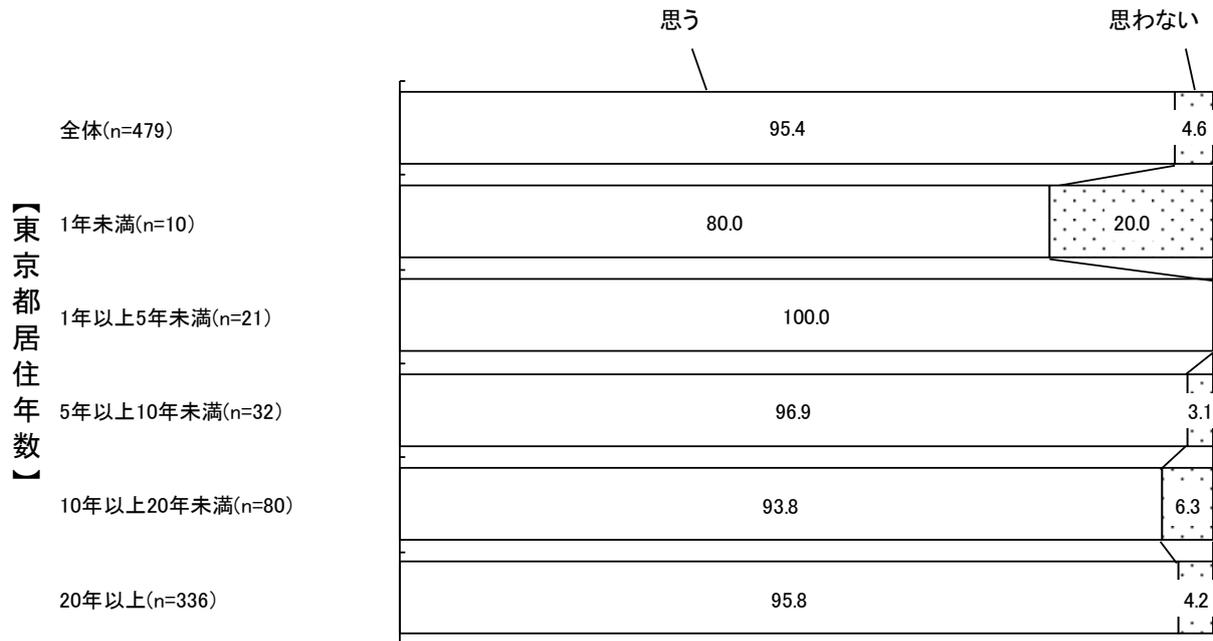
◎ 参考 東京は魅力的な都市だと「思う」の経年変化（平成21年度～平成30年度）



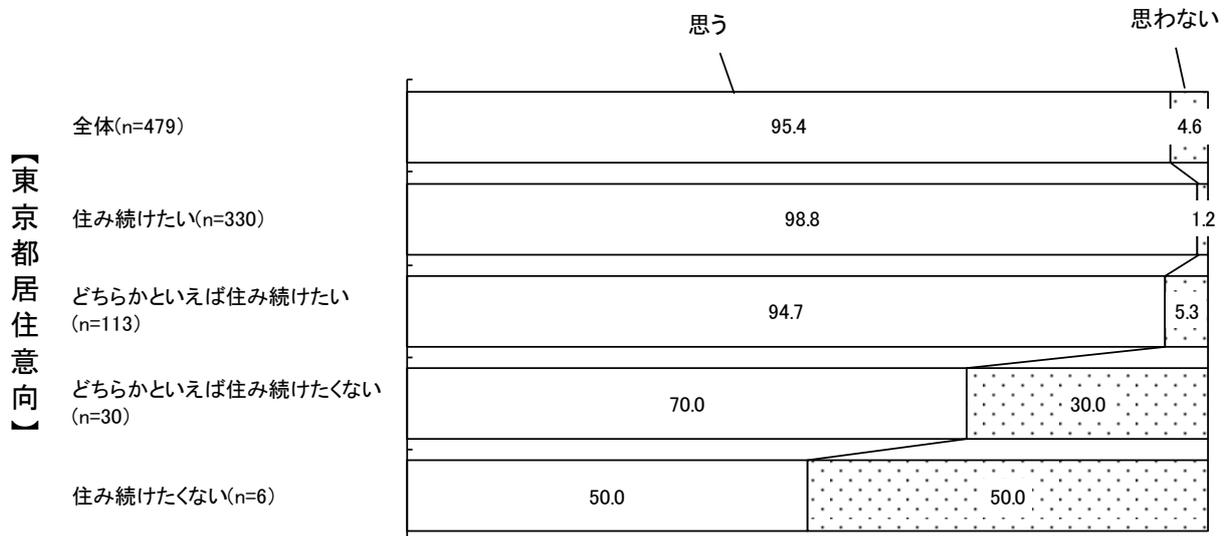
東京は魅力的な都市か（属性別）



東京は魅力的な都市か（東京都居住年数別）



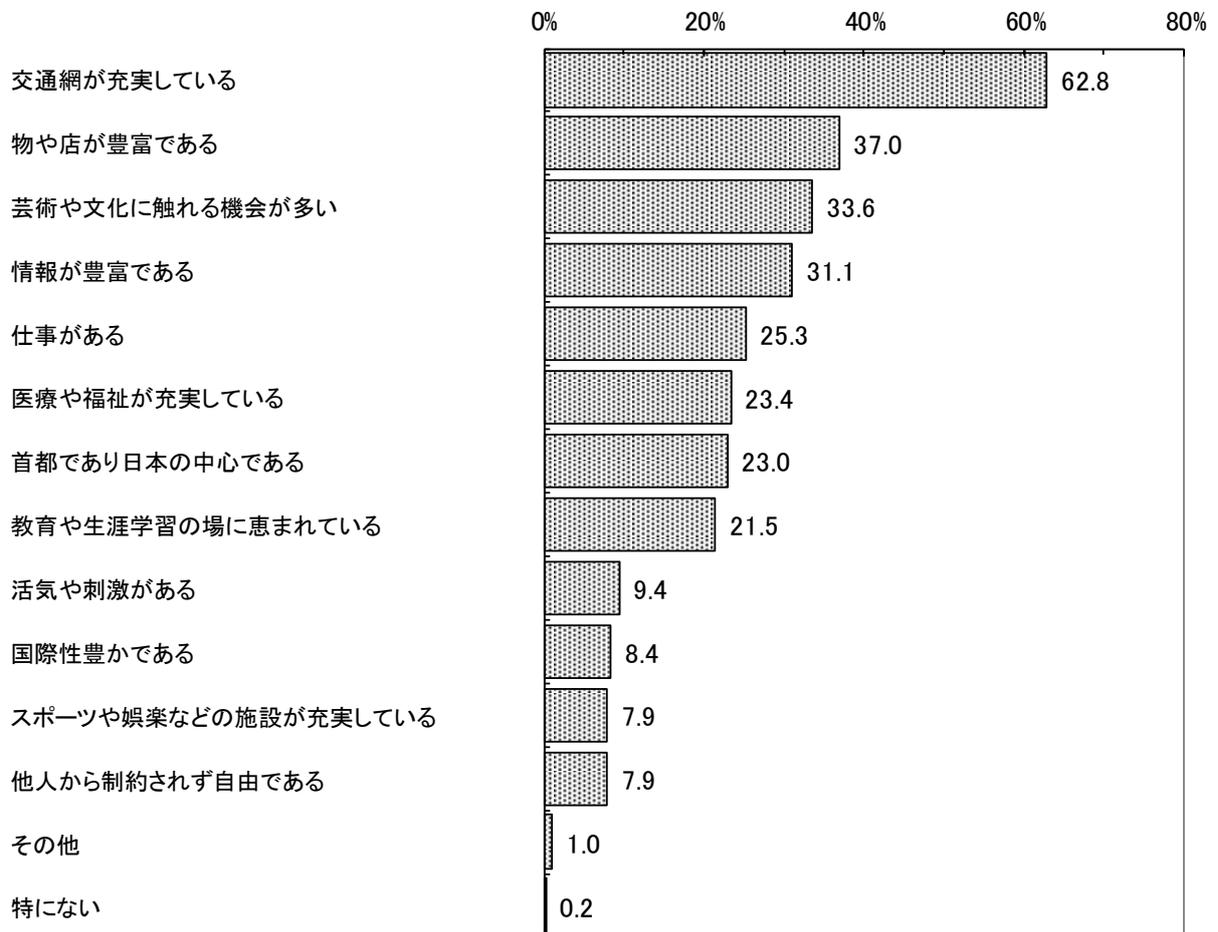
東京は魅力的な都市か（東京都居住意向別）



東京の良いところ（長所）

Q4 東京の良いところ（長所）は何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。

(3MA) (n=479)

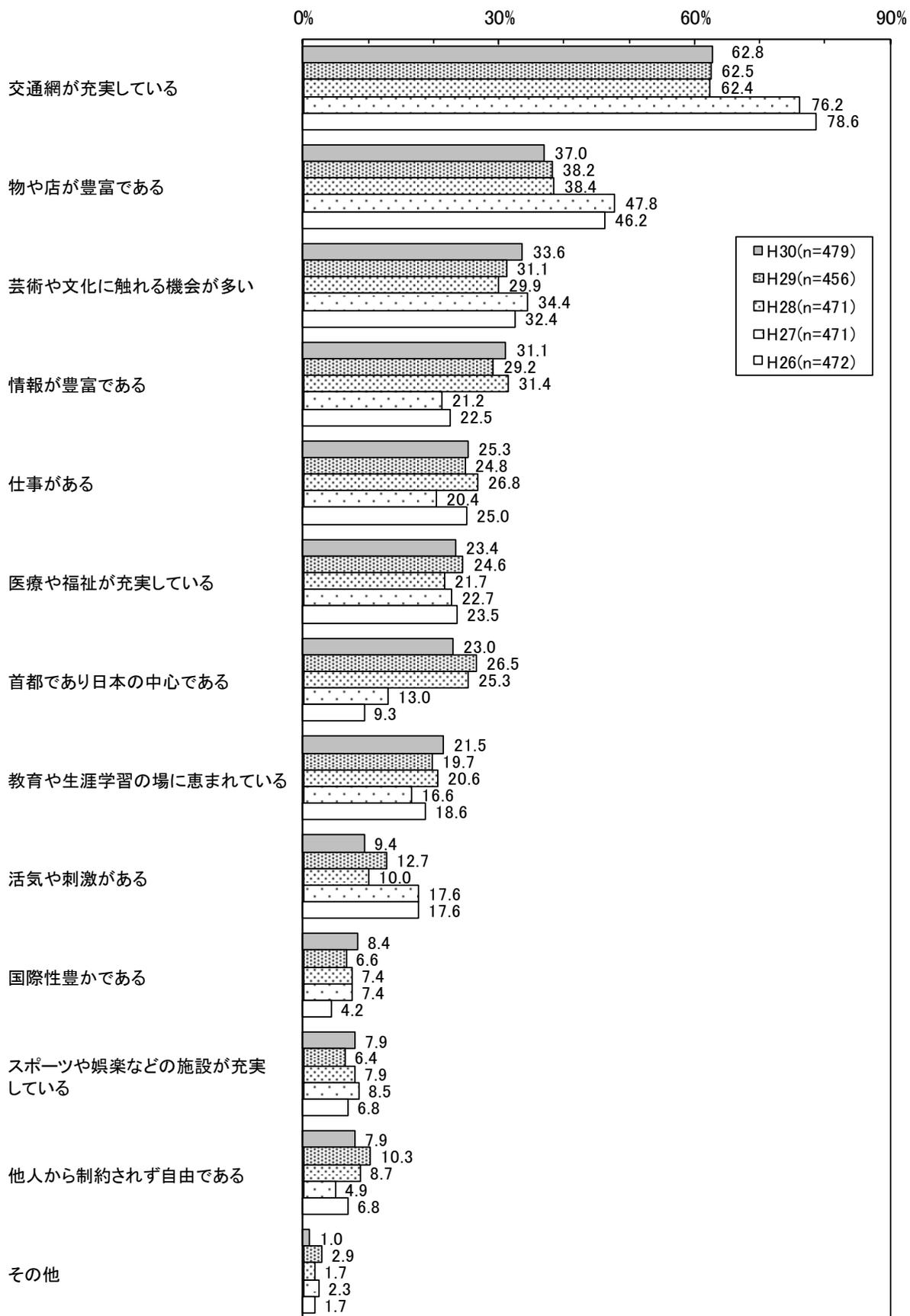


【調査結果の概要】

東京の良いところ（長所）について聞いたところ、「交通網が充実している」（62.8%）が約6割で最も高く、以下、「物や店が豊富である」（37.0%）、「芸術や文化に触れる機会が多い」（33.6%）などと続いている。

今年度は、上位4位まで前年度と同じであり、以下も、順位の入替えはあるものの、例年、各回答の割合に大きな変化はない。

◎ 参考 東京の良いところ（長所）の経年変化（平成 26 年度～平成 30 年度）

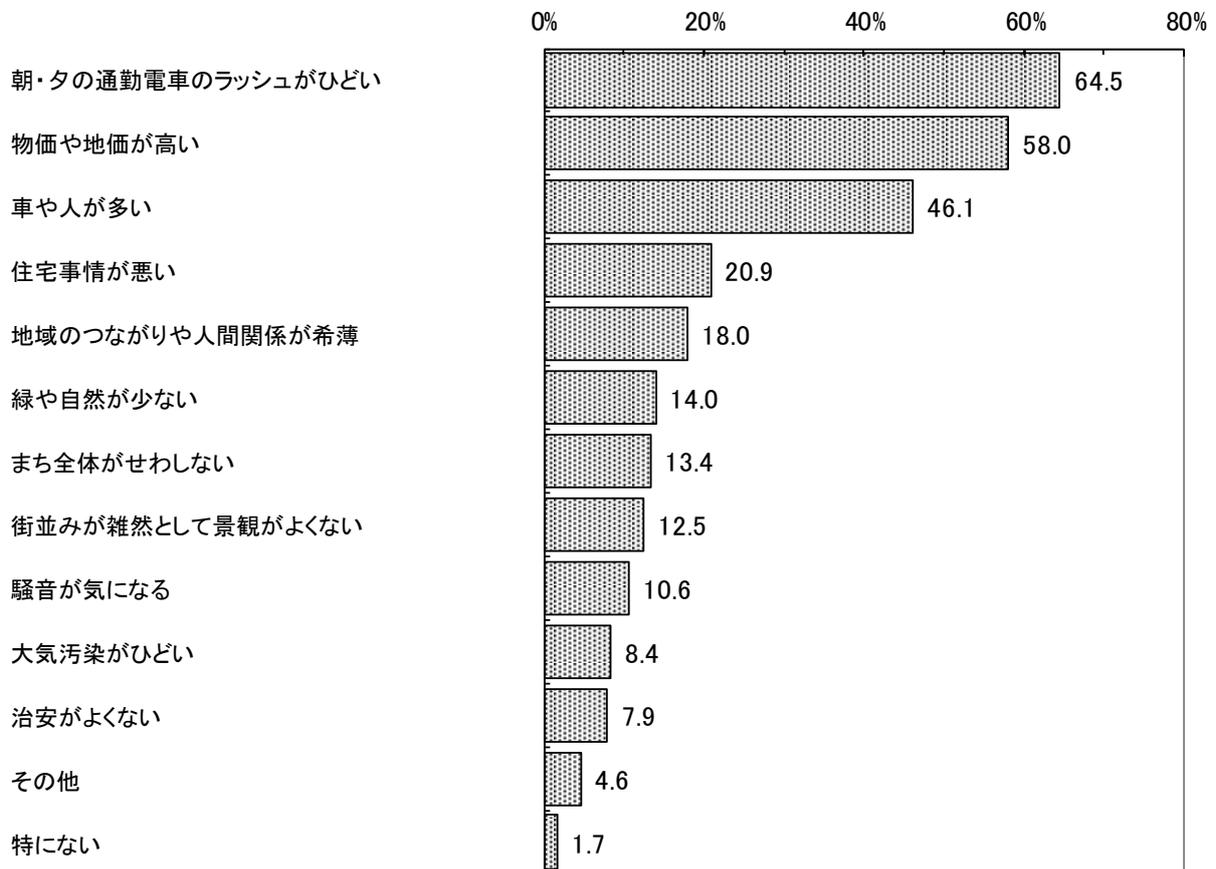


※ 平成 27 年度までは、「東京は魅力的な都市だと思う理由、側面」として質問している。

東京の良くないところ（短所）

Q5 東京の良くないところ（短所）は何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

(3MA) (n=479)

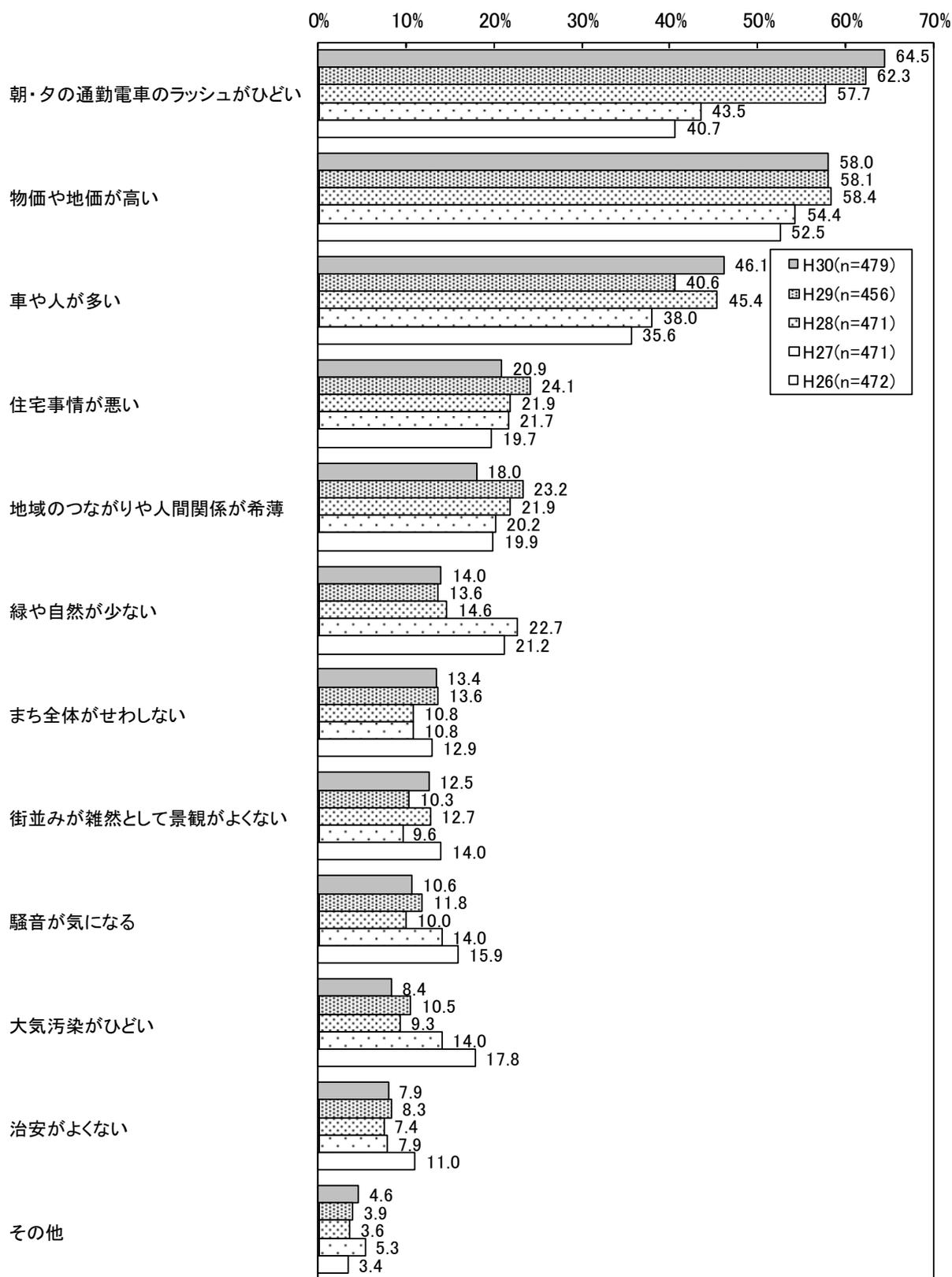


【調査結果の概要】

東京の良くないところ（短所）について聞いたところ、「朝・夕の通勤電車のラッシュがひどい」（64.5%）、「物価や地価が高い」（58.0%）の2つが5割を超え上位、以下、「車や人が多い」（46.1%）、「住宅事情が悪い」（20.9%）、「地域のつながりや人間関係が希薄」（18.0%）などと続いている。

今年度は、上位7位まで前年度と同じであり、以下も、順位の入替えはあるものの、例年、各回答の割合に大きな変化はない。

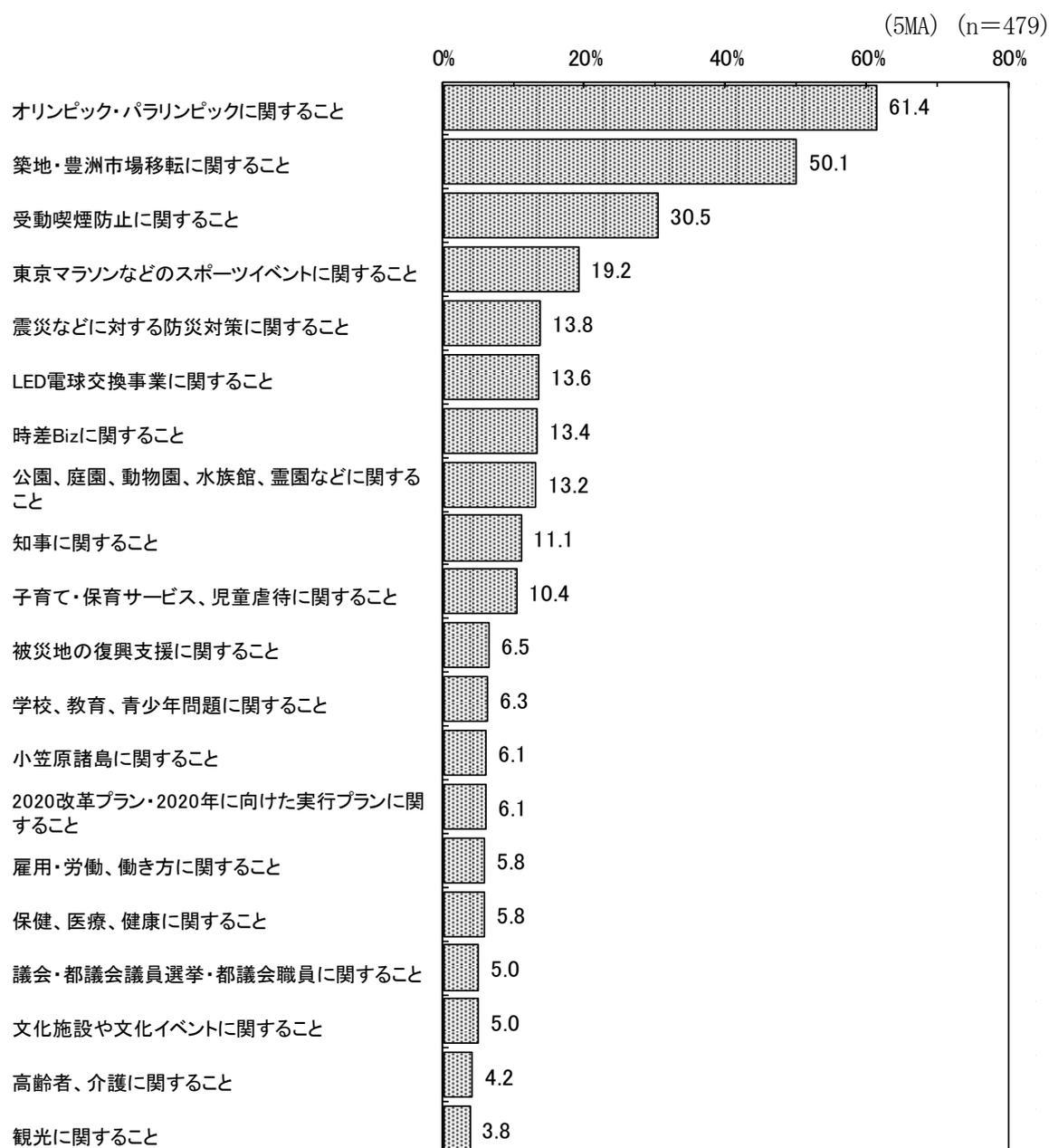
◎ 参考 東京の良くないところ（短所）の経年変化（平成26年度～平成30年度）



※ 平成27年度までは、「東京は魅力的な都市だと思わない理由、側面」として質問している。

関心を抱いた都政の出来事

Q6 過去1年間(平成29年8月から平成30年7月まで)で、関心を抱いた都政の出来事(関心を抱いた話題、評価できる施策など)を5つまで記入してください。



※ 集計結果は、自由記述された都政の出来事を関連する項目に集約したもの

※ グラフは、回答者479名が上位20項目を選択した割合

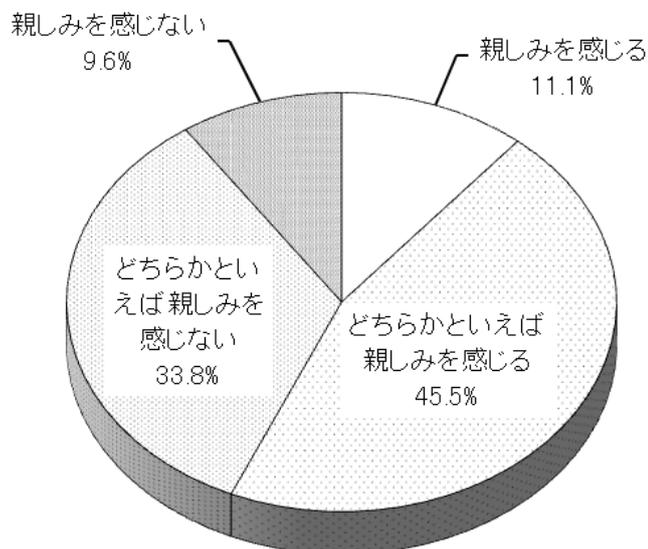
【調査結果の概要】

過去1年間で関心を抱いた都政の出来事について聞いたところ、「オリンピック・パラリンピックに関する事」(61.4%)が約6割で最も高く、以下、「築地・豊洲市場移転に関する事」(50.1%)、新規事項として「受動喫煙防止に関する事」(30.5%)、「東京マラソンなどのスポーツイベントに関する事」(19.2%)などと続いている。

都政の親近感

Q7 あなたは、最近の都政に親しみを感じますか。

(n=479)

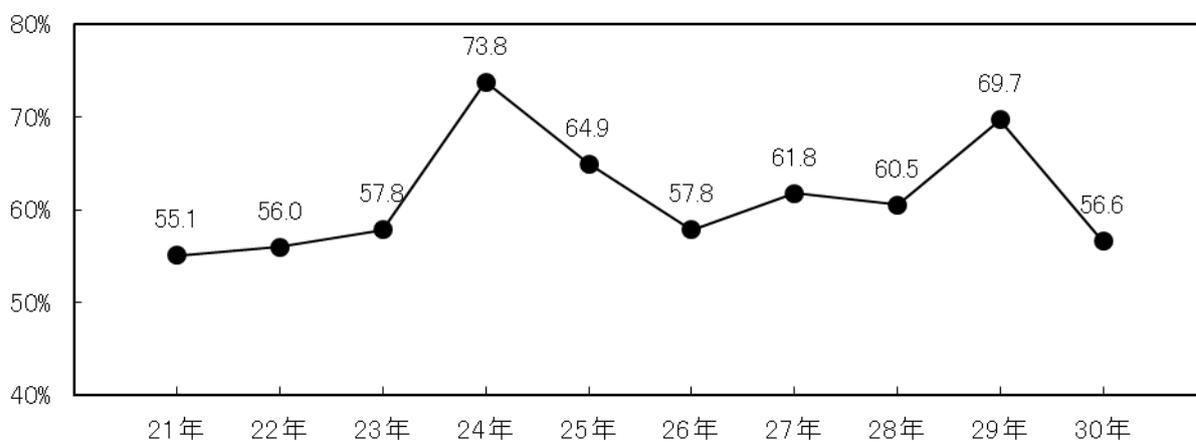


【調査結果の概要】

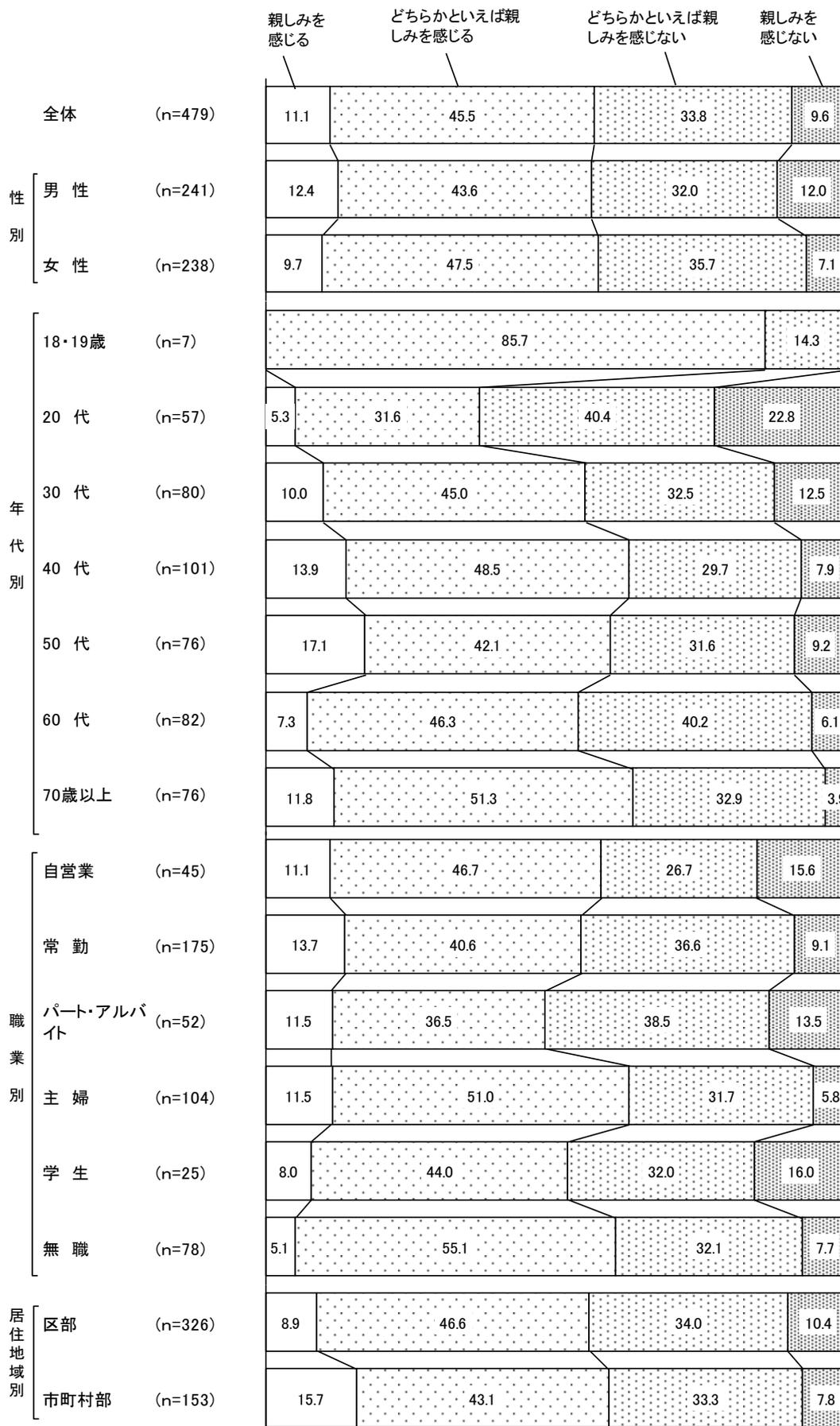
都政の親近感について聞いたところ、『親しみを感ずる』(56.6%)が6割近く(「親しみを感ずる」(11.1%) + 「どちらかといえば親しみを感ずる」(45.5%))であり、前年度から13.1ポイント低下した。

『親しみを感じない』(43.4%)は、約4割(「どちらかといえば親しみを感じない」(33.8%) + 「親しみを感じない」(9.6%))となっている。

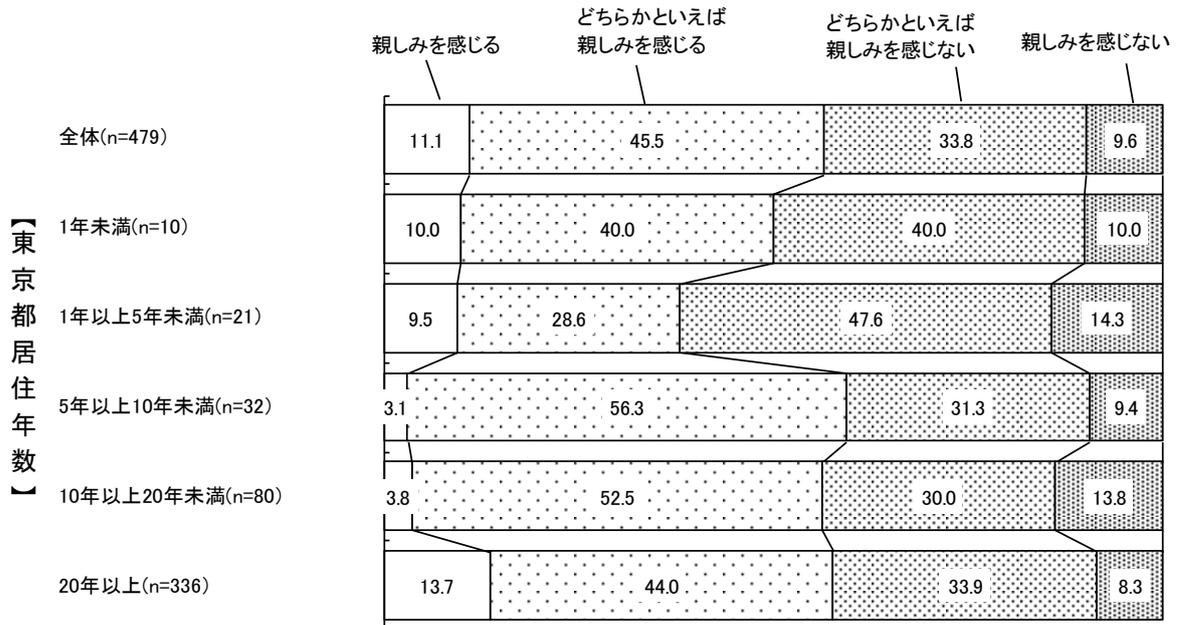
◎ 参考 都政の親近感の経年変化(平成21年度～平成30年度)



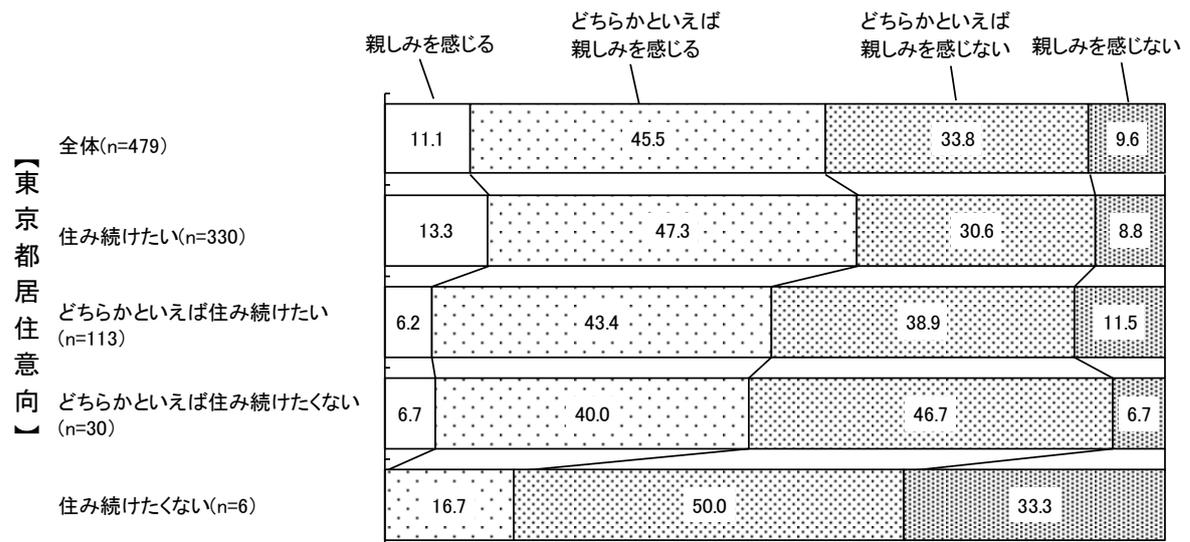
都政の親近感（属性別）



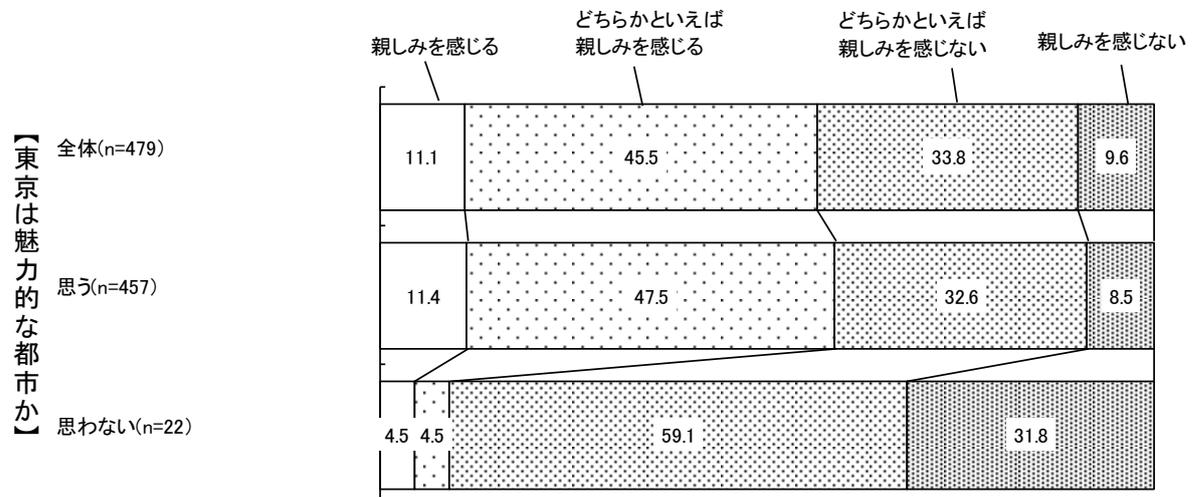
都政の親近感（東京都居住年数別）



都政の親近感（東京都居住意向別）



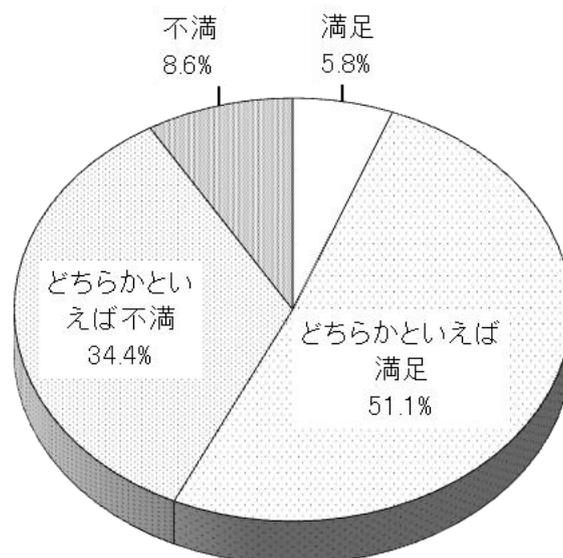
都政の親近感（東京は魅力的な都市か別）



都政の満足感

Q8 あなたは、最近の都政に満足していますか。

(n=479)

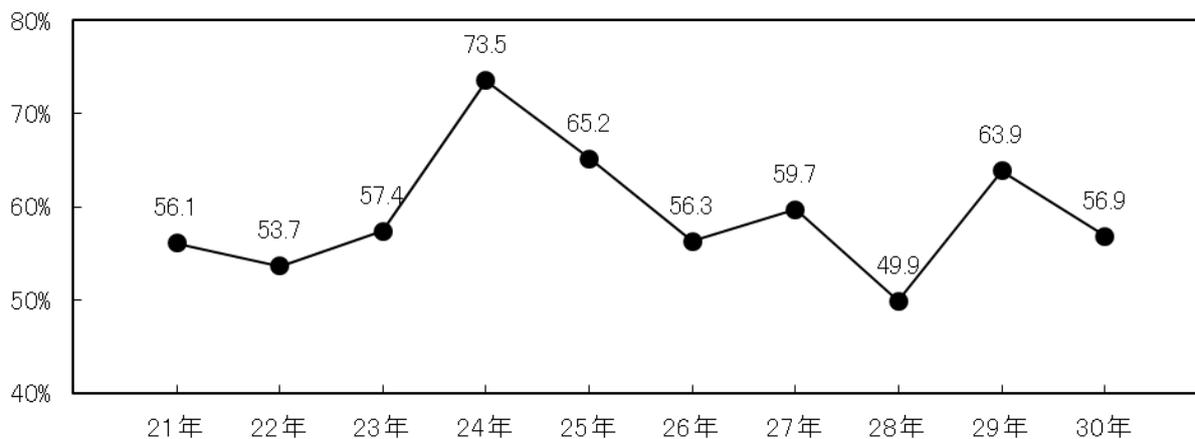


【調査結果の概要】

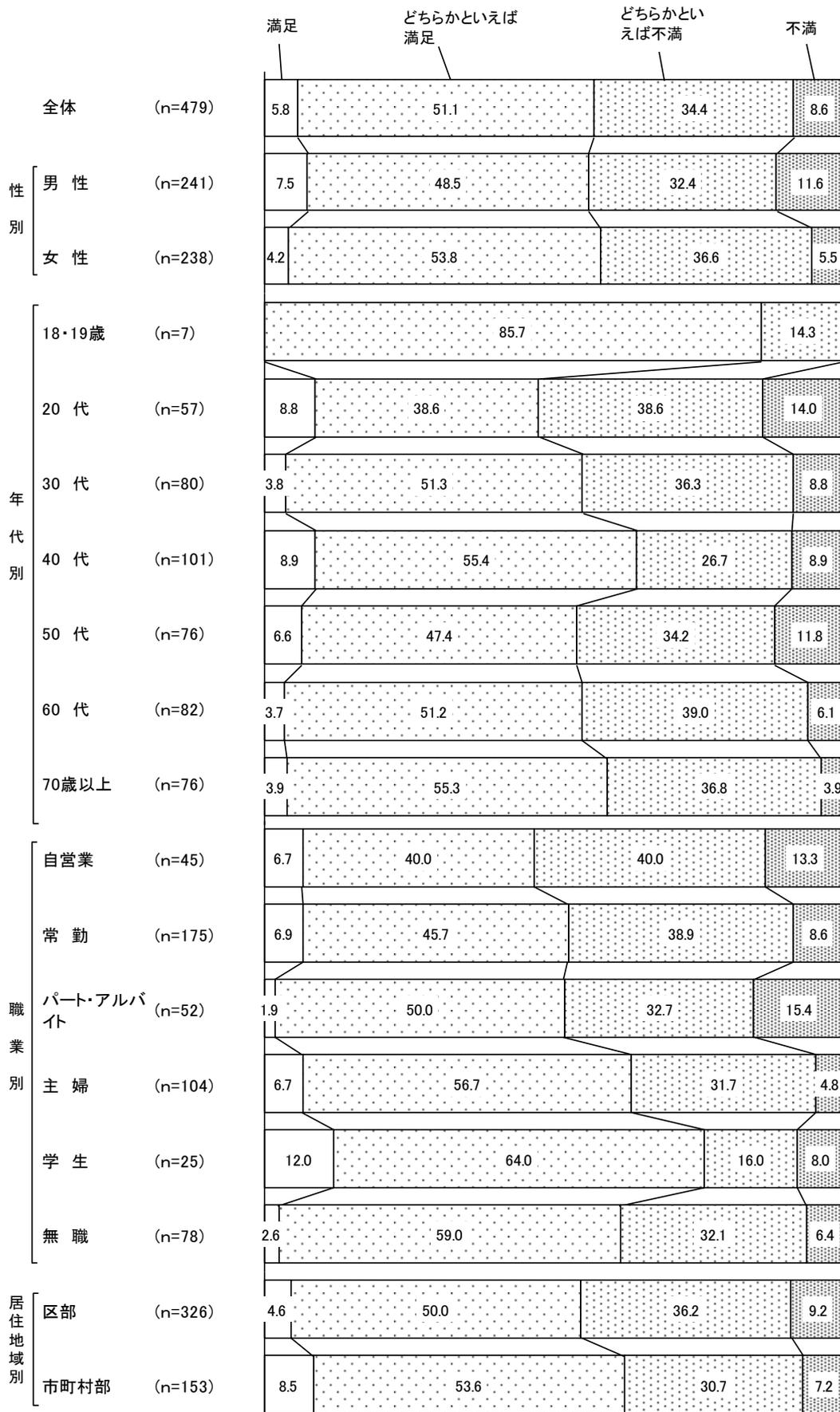
都政の満足感について聞いたところ、『満足』(56.9%)が6割近く(「満足」(5.8%) + 「どちらかといえば満足」(51.1%))であり、前年度から7.0ポイント低下した。

『不満』(43.0%)は、約4割(「どちらかといえば不満」(34.4%) + 「不満」(8.6%))となっている。

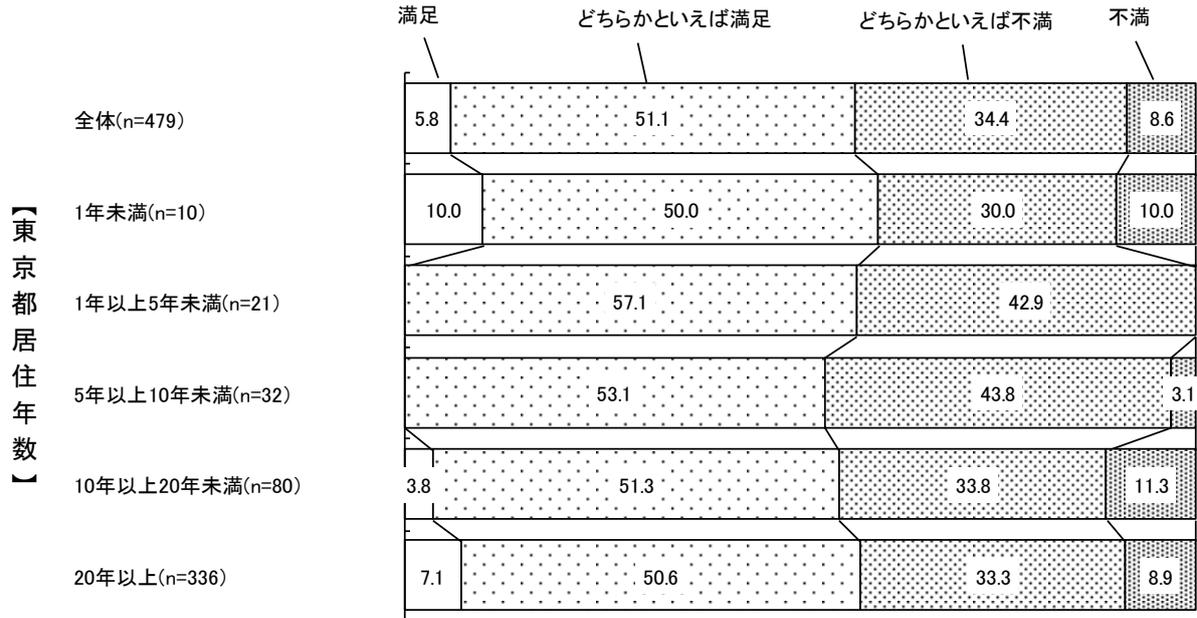
◎ 参考 都政の満足感の経年変化 (平成21年度～平成30年度)



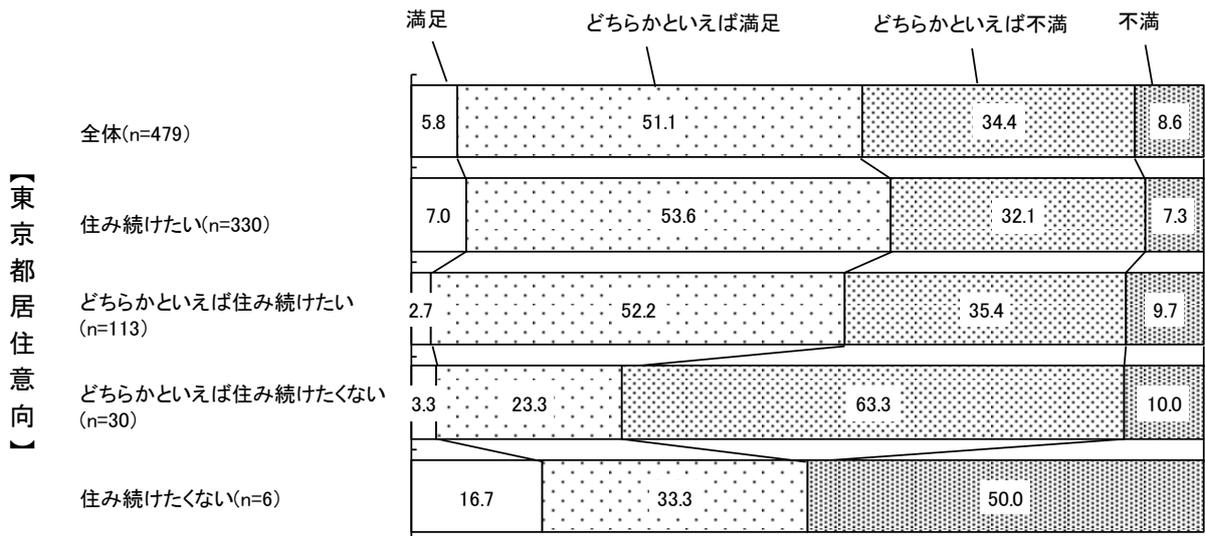
都政の満足感（属性別）



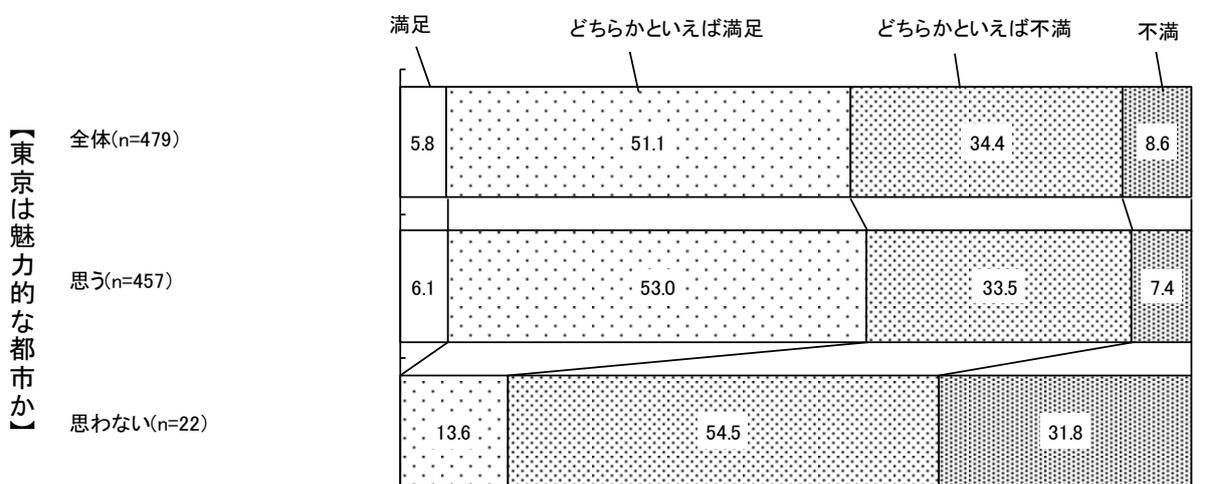
都政の満足感（東京都居住年数別）



都政の満足感（東京都居住意向別）



都政の満足感（東京は魅力的な都市か別）



満足の原因

Q9 Q8で、最近の都政に「満足」又は「どちらかといえば満足」と答えた人に伺います。満足している理由を簡潔にお答えください。

(n=273)

- | | |
|-----------------------|-----|
| (1) 生活のしやすさ(都政に不満はない) | 91件 |
| (2) 個々の政策に対する評価 | 83件 |
| (3) 身近でわかりやすい都政 | 42件 |
| (4) 知事の都政運営 | 33件 |
| (5) 行政サービスの充実 | 15件 |
| (6) 先進的な取組 | 7件 |
| (7) その他 | 2件 |

(主なご意見)

(1) 生活のしやすさ(都政に不満はない) 91件

- 仕事も十分あるし街並みもきれい。(男性、10代、国立市)
- 東京都に住んでいて、暮らしやすく治安が良い事に満足しています。(男性、20代、新宿区)
- 生活しやすく、利便性がよく、不便さを感じる事が少ないから。(女性、30代、豊島区)
- 知事が代わり、良くも悪くも変化していることが感じられる。(男性、30代、北区)
- 安心して暮らせているので満足です。税金の使用はきっちりと監査し、透明で無駄のないやりくりをしてほしいです。(女性、40代、足立区)
- 交通網などインフラがしっかりしており、場所を選べば昔ながらの人間関係の良さが残っていて、安全な街だと思うから。(女性、40代、文京区)
- 便利に生活ができるから。(女性、40代、北区)
- 都政が安定しているので、特に大きな不安もなく家族で安心して暮らしている。(男性、50代、日野市)
- 安全な街づくりができていると思う。(女性、60代、大田区)
- 現在の状況でとくに困ったことがないこと。広報東京都などで必要な情報も入り、今なにが行われているか外面的にはわかること。(女性、60代、練馬区)
- 特によい話題も、悪い話題もこの頃は聞きません。おしなべて、安定した都政運営ができていのではないかと考えています。(男性、60代、練馬区)
- 高齢になって、生活の面で年金だけでやっていけるのか、特に賃貸マンションで生活を続けることができるか少々不安ですが、通院などでの交通の便など東京だから恵まれていると思う。(女性、70歳以上、稲城市)
- 都民が、快適に、しかも安全に暮らせるライフラインの充実を図っている。(男性、70歳以上、江戸川区)

(2) 個々の政策に対する評価 83件

- 時差ビズの実施で交通機関の混雑解消を推進し、受動喫煙防止法の制定によって都民の健康と非喫煙者の心情に配慮した環境づくりを進めている点が評価できるから。(女性、10代、墨田区)

- 東京オリンピックに向けて街中のマナー改善やラッシュ時の混雑の対策を提案したことが印象的だったため。 (女性、20代、江東区)
- 働き方改革・女性活躍など、時代の流れに沿った政策があるため。 (女性、20代、豊島区)
- 国際色豊かになっているのと同時に日本古来の良さも引き出そうとしているように感じる。そうしようと取り組んでいる姿勢は評価できる。 (女性、30代、昭島市)
- 東京マラソン、時差Biz、受動喫煙条例など、東京で実施するとインパクトがありそうな施策を行っている点 (男性、40代、練馬区)
- イベントも毎週、渋谷、新宿を中心に沢山あるし、オリンピックを意識させてくれるイベントが盛り沢山で、今まであまり体験したことのないスポーツを応援する機会や体験できる体験ができるので、今からオリンピックが楽しみです。 (男性、50代、足立区)
- 禁煙施策により、お店や路上で喫煙に悩まされることがずいぶん減ったので、道路のごみも減り、子供たちなど若い世代にとって良い環境になりつつあることにとても嬉しく感じている。 (女性、50代、中央区)
- 透明性が高まっている。堅実で着実に施策が行われている。安定性や公平性は有ると思う。 (男性、50代、立川市)
- オリンピックのメダル制作のために携帯電話を引き取るなど、身近な取り組みが評価できる。 (男性、60代、三鷹市)
- 教育に関しては、補助金を出したり、保育園を増設したりそれなりの評価はしています。これから、少子化が進みその対策もさらに進めてもらいたいと思います。後2年後に開かれるオリンピックを楽しみにしています。一市民として何かしらボランティアなどに関われたらと思います。 (女性、60代、西東京市)
- 高齢者対策は非常に充実している。 (女性、70歳以上、港区)

(3) 身近でわかりやすい都政 42件

- 広報を通じて情報公開・情報提供がオープンに実施されていると感じるから。 (男性、30代、府中市)
- 市民目線の生活改善に向けた活動が見られるようになった気がします。明確な成果が出ていますとまでは行きませんが、取り組みについての発信が増え信頼感が増しているように感じます。 (男性、40代、立川市)
- 開かれた情報の発信がなされていると思います。また、万人が親しみやすいネーミングだったり、広報の仕方を工夫していると思います。広報誌がとても読みやすく、保存版にしたくなる。身近な話題が多く取り上げられている。 (女性、50代、調布市)
- 都民の意見を広く拾って、今の都民のニーズにあった事業を推進しようと努めているところに満足しています。 (女性、60代、八王子市)
- 都民の意見を聞いてくれる姿勢があると思います。 (女性、70歳以上、江東区)

(4) 知事の都政運営 33件

- 小池都知事の下、的確でスピーディな運営がなされていると感じるから。また都政に関する情報公開の充実、広報の充実などから、何が起きているのか、何がなされるのかを都民として把握することが容易であるから。 (男性、20代、中野区)
- 小池都知事を筆頭に、都職員が一丸となり、都民に対し、行政サービスを提供していると思う。

税金の無駄遣いが減ったのではないかと感じる。(男性、30代、八王子市)

○小池都知事が問題を投げ出さずに、責任を人に転嫁せずに真摯に取り組んでくださっているのがよくわかります。またそのリーダーシップに従って、たくさんの方が動いていらっしゃるのだと思います。(女性、50代、江戸川区)

○小池都知事になって都民への発信が多くなり、より都政を身近に感じる。(女性、70歳以上、江戸川区)

(5) 行政サービスの充実 15件

○子育て支援や通勤時のラッシュなど、身近な問題に対応して下さっている印象があるから。(女性、20代、杉並区)

○子供や高齢者、障害者など社会的弱者に対する支援制度について検討し、政策を実施している。(女性、30代、中野区)

(6) 先進的な取組 7件

○受動喫煙対策や無電柱化など、グローバルスタンダードから遥かに遅れを取っている分野において、東京都は率先して法整備や推進に取り組んでおり評価に値する。(女性、40代、豊島区)

不満の理由

Q10 Q8 で、最近の都政に「不満」又は「どちらかといえば不満」と答えた人に伺います。不満の理由を簡潔にお答えください。

(n=206)

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 個々の政策に対する評価 | 108 件 |
| (2) 都政のわかりやすさ | 42 件 |
| (3) 知事の都政運営 | 35 件 |
| (4) 財政支出のあり方 | 20 件 |
| (5) その他 | 1 件 |

(主なご意見)

(1) 個々の政策に対する評価 108 件

- オリンピックや市場移転など大規模だったり華やかなことだけでなく、地味だとしても人々の生活に根付いた支援・補助などに力を入れていただきたいです。住宅支援、幅広い教育支援など。
(女性、20代、国分寺市)
- 通勤電車の混雑が全然改善されないため。東京2020オリンピックの開催に向けて、ボランティアや混雑緩和の協力依頼ばかりでオリンピックによる恩恵を感じないため。
(女性、20代、練馬区)
- 多摩地区に在住している身としては、どうしても報道内容が23区中心となり、多摩地区の改革があまりされていない印象にあります。目に見える肌で感じられる多摩地区の改革が感じられません。以前は23区に住んでおり子育て対応なども充実していると感じましたが、多摩地区は財政も乏しく地方の自治体とそれほど大きな違いを感じられません。これでは東京の魅力とは言えない気がします。自然が豊かな部分はとても魅力的なのですが……。ゴミ処理も23区とは大きな差があります。保育・医療もまだまだ不足しています。また23区外では古い町の道路が非常に狭く老若男女問わず危険が溢れています。住みやすい町・環境づくりを多摩地区にも推進願います。
(女性、30代、東久留米市)
- 報道の取り上げ方が原因で、感じるだけかもしれないが、オリンピック、豊洲、訪日外国人といった、都民の日々の生活と離れた部分に注力している印象がある。
(男性、30代、葛飾区)
- 少子・高齢化などを始めとする社会環境変化への対応が遅い。
(男性、40代、大田区)
- 築地市場の移転決定に大変時間がかかったから。拙速な決定にも問題はあがあるが、食の安全性を考えると、豊洲でよいのか疑問が残る。企業誘致の問題など複雑に絡み合っにっちもさっちもいかなかったのだろうと想像するが、今回の件をぜひ今後の都政運営に生かしていただきたい。
(女性、40代、武蔵野市)
- オリンピックなどの大型イベントよりは、介護施設の不足など緊急の課題にお金をかけていただきたいです。
(女性、50代、日野市)
- 都民ファーストの実感がいまだ得られない感があります。豊洲市場移転やオリンピック開催準備に追われ、本来の都民の生活が置き去りにされている部分もあるように思われるからです。豊洲市場やオリンピックにしても東京都にとっては有益な案件なのかもしれませんが、都民にとって生活そのものが現実です。本来の都民ファーストは子育て支援や防災など将来世代へ財源を割り当てるようにした政策であったように感じ期待をしておりましたが、生活レベルまで反映されていないような気がします。
(女性、50代、三鷹市)

- 現在都内で母の介護をしているが、東京は高齢者の人数も多いためかショートステイできる施設が確保できない。まだまだ高齢者対策が足りないと感じている。また都内でも地域によって介護格差があると思う。(女性、60代、国立市)
- 災害対応に全力で取り組んでいるとは感じられない。都民の命を守るという行政の原点を最重要視してほしい。大災害が起こって人が死んでからでは遅い。(男性、60代、台東区)
- 東京オリンピック、パラリンピックに関する報道ばかりが多すぎるし、オリンピックのために、サマータイム実施とか祝日をずらす、とか、学生をボランティアにするため学校を休みにするとか、オリンピック関連ばかりで、他の都政がおろそかになっていると思われる。(女性、60代、墨田区)
- 待機児童をなくしていくなど、少子化対策、公園、緑地、水辺の整備など、環境対策にもっと力入れて推進してください。(男性、70歳以上、新宿区)
- 防災事業や高齢者福祉関連行政が目立った進展がない。(女性、70歳以上、調布市)

(2) 都政のわかりやすさ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42件

- まだまだ、様々な生活環境下にある都民の意見を聞ける場や反映には至っていないと思うから。(女性、20代、大田区)
- 都民というより、首都である東京としての都政が優先しているように感じます。(女性、30代、練馬区)
- 都民に寄り添った政策がされていない気がする。(男性、40代、西東京市)
- 日常生活の中で、都がどう暮らしに役立っているのかが今一つよくわからない。また各部署がバラバラに情報発信をしているように感じる。未来に向けた新しい施策もとられているのかよくわからない。また防災・安全といった施策も事業の進捗状況などが都民にわかりやすく情報発信されているとは言えないのではないか。(男性、50代、世田谷区)
- 一国に値する規模の東京都と聞いているが、都民の目線をもっと大事にしてほしい。(女性、70以上、日野市)

(3) 知事の都政運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35件

- 小池知事自らの政策理念があまり伝わってこない。(男性、50代、荒川区)
- 都政の方向性や課題等についてもっとタイムリーに、正直にリーダーが率先して提供すべき。(女性、60代、新宿区)
- 小池知事の都民ファーストで、選挙に掲げた政策が着実に実行されておらず、期待度がかなり低下している。2020年のオリンピック開催よりも、行政及び予算の使い方、都民に対する政策を最重要課題にして、都民ファースト政策を一つ一つ積み上げてもらいたい。(女性、70歳以上、港区)

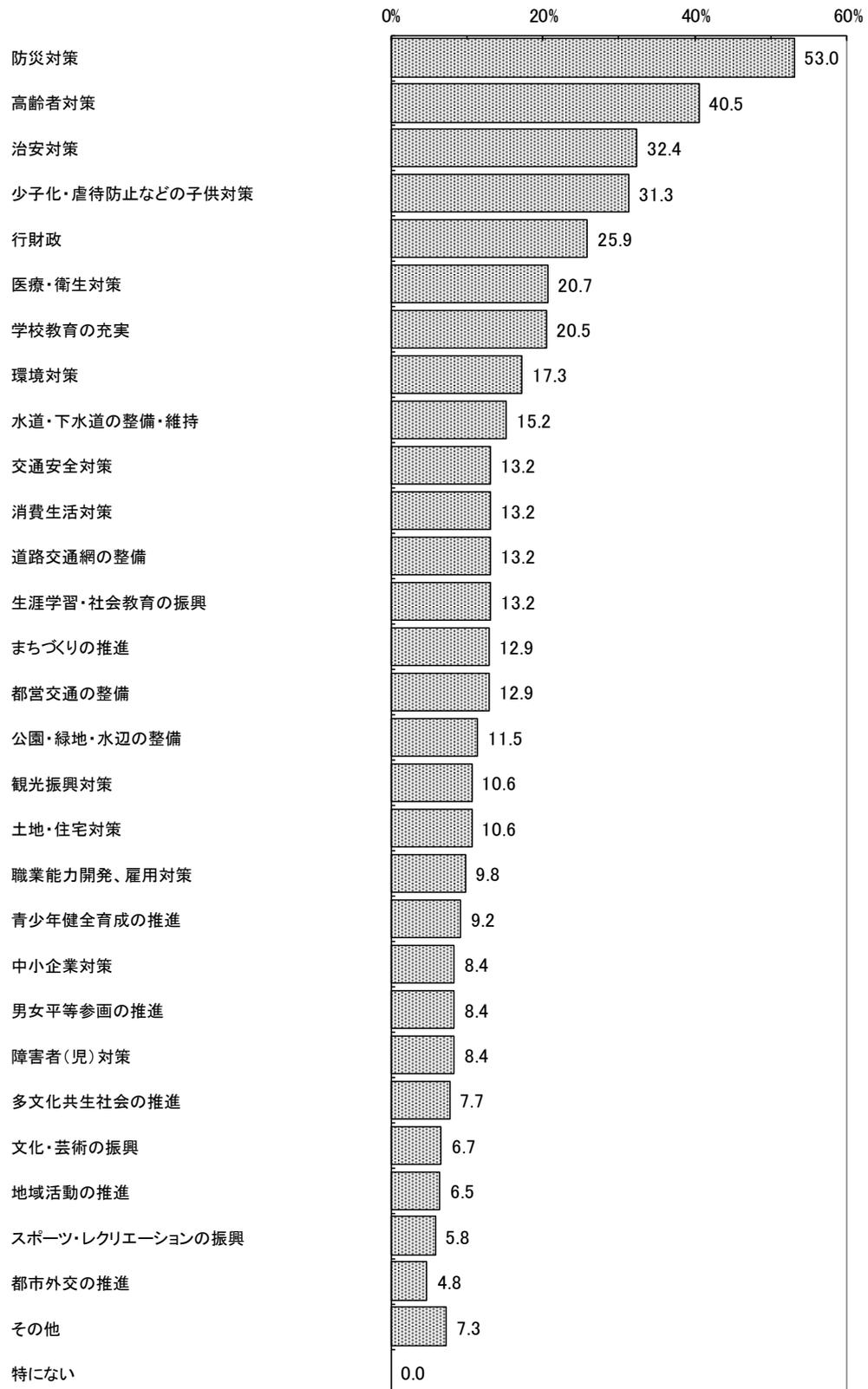
(4) 財政支出のあり方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20件

- 税金の使われ方に無駄が多いと感じる。わかりやすい情報開示、企業会計同様の報告、都民のために限りある財源を有効利用して欲しい。(男性、30代、品川区)

東京都が取り組むべき分野

Q11 あなたは、今後、東京都が最も力を入れて取り組むべき分野は何だと思いますか。
次の中から5つまで選んでください。

(5MA) (n=479)



【調査結果の概要】

東京都が取り組むべき分野を聞いたところ、「防災対策」(53.0%)が約5割で最も高く、以下、「高齢者対策」(40.5%)、「治安対策」(32.4%)、「少子化・虐待防止などの子供対策」(31.3%)、「行財政」(25.9%)などと続いている。

なお、「水道・下水道の整備・維持」(15.2%)が前年度の12位から9位へ、「交通安全対策」(13.2%)が13位から10位へ、それぞれ上昇した。

◎ 参考 東京都が取り組むべき分野 過去3か年調査の比較 (上位10項目)

※ 各年度とも5つまでの複数回答

